

生産費把握システム「コストくん」

細田 耕平

(岩手県立農業試験場)

The System to Grasp the Cost of Agricultural Products ; "Cost-kun"

Kohei HOSODA

(Iwate-ken Agricultural Experiment Station)

1 はじめに

米を始めとして農産物の過剰基調が続き、生産物価格は低迷しており、また、諸外国からの自由化要求や国民の国際価格などへの意識が強まるなど国内外の諸情勢は急激に変化している。このため、稲作を中心として低コスト化が問題となっているほか、産地間競争に対処していくためには、経営コストを把握し、経営の効率化によるコストの低減を図らなければならない。

しかし、この農産物の生産コストを算出するためには、生産費に関する一定の知識並びに約束事項によって調査を行い、繁雑で時間のかかる計算過程を踏まなければならない。このため、普及現場から簡易に生産費を集計・分析できる手法が求められている。

そこで、パーソナルコンピュータを利用して、繁雑な計算過程を簡略にし、生産費を計算するシステム「コストくん」を開発した。

2 「コストくん」の概要

(1) 「コストくん」の機能

「コストくん」は、従来、時間のかかった減価償却費や資本利子などの計算を自動化し、生産費を簡易、正確そして迅速に計算するシステムである。

このシステムは、栽培面積・生産量等の初期条件、そして使用資材の数量・単価などの項目を入力するだけで、10a当り生産費、生産単位当り生産費を自動的に計算するものである。また、日別労働時間を入力するだけで、月別労働時間・年間労働時間を家族・雇用労働別に集計する。

このシステムで生産費が計算できる作目は、水稻・麦類・豆類などの穀類、野菜、果樹、工芸作物などの耕種部門に限られ、畜産物の生産費は計算できない。

また、このシステムの生産費計算は農林水産省統計情報部が実施している方法であり、全国農業協同組合中央会、全国農業会議所の生産費調査の方法には対応していない。

(2) システムの特長

システムの主な特長は次のとおりである。

①本システム独自のメニューを使用しており、操作が簡単で、本システムに利用している統合型ソフトや生産費の計算に慣れていない人でも利用できる。

②計算処理を自動化し、効率的に入力・出力ができる。

③任意の基準数値を入力することにより、その数値との標準比較ができる。

④費用合計に対する費目構成比、費目順位、費目構成比円グラフ、費用標準値比較グラフを画面表示・プリンタ出力する。

(3) 使用機器の構成

基本的な機器の構成は、①NEC PC-9801シリーズのコンピュータ本体、②ディスプレイ、③プリンタで、メモリは512キロバイト以上を必要とする。なお、このシステムは市販の統合型ソフト「Lotus 1-2-3 R2.1 J plus」を用いて開発した。

3 システムの構成・操作

(1) システムの構成

システムの構成は、図1に示すとおりであり、本システムは、メニューファイル、4つの費用集計ファイル、そして労働時間集計ファイルの合計6ファイルから構成されている。

これらのファイルの概要は次のとおりである。

1) メニューファイル

費用集計ファイルや労働時間集計ファイルの入力ファイルやデータファイルを呼び出すもので、システム起動時に自動的に呼び出されるファイルである。

2) 費用集計ファイル

生産費を集計・分析するファイルで、生産費を集計する作目にあわせて、次の4種類のファイルから1つを選択して入力する。なお、これらのファイルでは労働時間の集計はできないので、労働費を入力する場合は、労働時間集計ファイルにより労働時間集計後、労働費を入力する。

a. 水稻費用. BAK

米・麦類・豆類など、生産単位が60kg(俵)で集計する作目の生産費を計算する場合に選択する。

b. 野菜費用. BAK

野菜など、生産単位が100kgで集計する作目の生産費を計算する場合に選択する。

c. 果樹費用. BAK

果樹・アスパラガス・ホップなど、成園になるまでの育成費を要する作目の生産費を計算する場合に選択する。

d. 花き費用. BAK

花きのように生産単位が100本で集計する作目の生産費

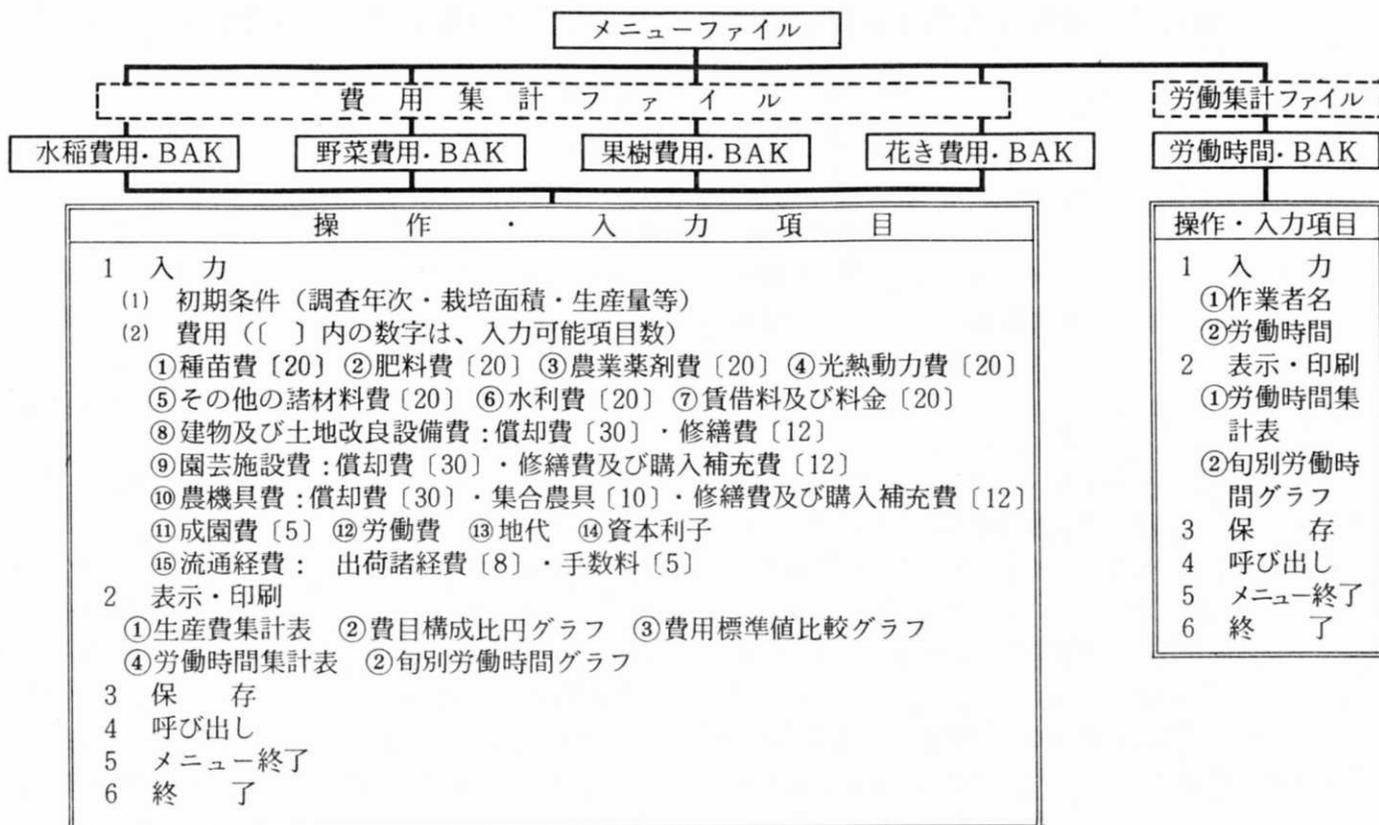


図1 システムの構成

を計算する場合に選択する。なお、スイセン球根のように花きでも100kg単位で集計する作目の生産費を計算する場合は、野菜費用ファイルを選択する。

3) 労働時間集計ファイル (ファイル名: 労働時間. BAK)

労働時間を集計する場合に選択する。

(2) システムの操作

操作は、システム立ち上げ時に表示される独自のメニューにより進める。操作項目の概要は表1に示すとおりである。

生産費を計算する場合、従来、手計算で行うと、集計・分析に2~3日かかったが、「コストくん」を利用すると、

表1 「コストくん」操作概要

操作項目	操 作 内 容
入 力	初期条件, 各費用, 10 a 当り標準値, 労働時間等の入力表を画面に表示する。
表 示	各種集計表, グラフを画面に表示する
印 刷	各種集計表, グラフをプリンタに出力する
保 存	入力したデータをフロッピーに保存する
呼 び 出 し	入力ファイル・データファイルを呼び出す
メニュー終了	メニューを終了し, 入力モードに戻る
終 了	使用ソフトを終了し, MS-DOSに戻る

操作に慣れた人は1~2時間で入力が終了し、効率的に生産費の計算ができる。